

巻頭言

大東文化大学スポーツ・健康科学部看護学科 学科主任

森田 恵子

2018年4月、スポーツ・健康科学部に看護学科が設置され、2022年3月に1期生を社会に送り出すことができた。学科設置から4年間、文部科学省の管轄下におかれたいわゆる完成年度と称される2022年度を無事に終え、本学科も第二ステージを迎えているといえる。大変感慨深いものがあるが、同時に卒業生たちがどのような活躍を見せてくれるのか、新たな期待も膨らませている。

さて、2022年はロシアによるウクライナ侵攻、円安、COVID-19の相次ぐ変異株の出現と流行など、私達の生活を取り巻く情勢は変化が著しく、先を予測できにくい状況が続いている。このような中で、2022年度ノーベル生理学・医学賞は進化遺伝学の世界的権威者であるスウェーデンのスバンテ・ペーボ博士が受賞した。博士は、ホモ・サピエンスには約20万年前に出現したネアンデルタール人の遺伝子が受け継がれていることを解明した。遠くを見つめ今を理解する、なんと壮大な研究だろうと大きな夢も与えてくれた研究である。博士による古代人の骨の遺伝子解析は、人類の進化に関する発見、ゲノム解析の著しい発展をもたらし、私たちの免疫システムなど、現代人の体の理解にも役立てられている。博士は、受賞インタビューの際に研究を突き動かすものは好奇心であると述べているが、30年にも渡る研究を継続する忍耐強さも驚愕すべき点である。

私たちの日々の学習、教育、研究の根底も、飽くなき知的好奇心と日々の忍耐強い学習・研究活動が支えとなっている。この度、本誌5巻が発刊される運びとなったが、看護学科学生・教員の研究に対する好奇心や関心、学会運営委員の忍耐強い活動に支えられた結果であると感じ、感謝申し上げたい。卒業生

の更なる成長と本誌の永きに渡る益々の発展を願い、巻頭言としたい。

2022 年吉日